学校番号	104

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英会話	2	3	Connectivity Level 1 (Pearson)

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英会話はネイティブ教員と日本人教員による授業で、少人数でスピーキングとリスニングを中心に授業を行います。教科書で学習した文法や文化的な背景やペアワーク、グループワークなどのアウトプットを中心にした授業を行います。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・自然な速さで話される観光地での説明やガイドなどのアナウンスを聞いて、大切なポイントをもらさず概要を把握することができる。 ・自然な速さで標準的な発音で話される様々な分野のレクチャーやディスカッションの要点を理解することができる。	・小説などを読み、背景を踏まえ事実関係だけでなく、登場人物の気持ちなどを把握し、気持ちに応じて適切な速度や声の調子で音読することができる。 ・300 語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。	・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを、聞いたり読んだりしたことを参考に、基本的な語句や文でわかりやすく話して伝え合うことができる。 ・身近なトピック（趣味や将来の夢や希望など）について幅広く意見や情報の交換をすることができる。	・日常的・社会的な話題に関する情報や考え、気持ちなどを話して伝える際に、発表のときに必要な表現などの知識を活用することができる。 ・身近なトピックや出来事について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	・興味のある社会的なトピックに関して、読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 ・身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎ語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。 ・自分のよく知っているトピックに関して、参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対話、講義、エッセイなどを通じて言語や文化についての知識と理解を身に付ける。	日常的な会話だけでなく、複雑な対話や講義を聞いて、概要を理解することができる。 CEFR A2～B2 程度の短い文章を読んだり聞いたりして概要を理解することができる。	国際的なコミュニケーションにおいて通用するような、積極的な姿勢で活動に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	Unit 1 Unit 2	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Conversation, Activator の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: NET の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: テキストで出てきた語彙や文法表現を理解できる。 b: Communication Goal, Vocabulary の内容を理解し,テキストの中で言語、文化面での日本との違いを理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: NET などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		書くこと	a: 日英の表現の違いを理解できる。 b: Unit ごとのテーマに沿った文化・慣習について自分の考えを書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的･自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	中間考査			
	Unit3 Unit4	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Conversation, Activator の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: NET の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: テキストで出てきた語彙や文法表現を理解できる。 b: Communication Goal, Vocabulary の内容を理解し,テキストの中で言語、文化面での日本との違いを理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: NET などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		書くこと	a: 日英の表現の違いを理解できる。 b: Unit ごとのテーマに沿った文化・慣習について自分の考えを書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的･自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	期末考査			
2学期	Unit5 Unit6	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Conversation, Activator の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: NET の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: テキストで出てきた語彙や文法表現を理解できる。 b: Communication Goal, Vocabulary の内容を理解し,テキストの中で言語、文化面での日本との違いを理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: NET などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		書くこと	a: 日英の表現の違いを理解できる。 b: Unit ごとのテーマに沿った文化・慣習について自分の考えを書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的･自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	中間考査			

	Unit7 Unit8 Unit9	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Conversation, Activator の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: NET の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: テキストで出てきた語彙や文法表現を理解できる。 b: Communication Goal, Vocabulary の内容を理解し,テキストの中で言語、文化面での日本との違いを理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: NET などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		書くこと	a: 日英の表現の違いを理解できる。 b: Unit ごとのテーマに沿った文化・慣習について自分の考えを書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的･自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	期末考査			
3学期	Unit 10 Unit 11 Unit 12	聞くこと	a: 英語のリズムやイントネーションに関する知識がある。 b: Conversation, Activator の英文を聞き取り，内容を理解することができる。 c: NET の発言や音声を真剣に聞いて，内容を理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		読むこと	a: テキストで出てきた語彙や文法表現を理解できる。 b: Communication Goal, Vocabulary の内容を理解し,テキストの中で言語、文化面での日本との違いを理解できる。 c: 本文の内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 c: NET などと積極的に話そうとしたり，ペアワークやグループワークにおいて積極的に発言したりする態度がみられる。	・授業の取り組み ・ペアワーク，グループワークでの活動状況
		話すこと（発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: オーディエンスに伝わりやすいように、話す内容の構成を考えることができる。 c: アイコンタクトをとるなど、発表の中でオーディエンスとのつながりを持とうとしている。	・授業の取り組み ・発表への取り組み
		書くこと	a: 日英の表現の違いを理解できる。 b: Unit ごとのテーマに沿った文化・慣習について自分の考えを書くことができる。 c: 読み手に配慮しながら，主体的･自律的に題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとしている。	・授業の取り組み ・定期考査 ・課題の提出
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度